



令和7年度 第4回理事会の開催

第4回理事会を令和7年12月3日(水)ANAクラウンプラザホテル松山で開催した。
議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 次期役員選考について

事務局より資料に基づき、総務委員会で次期役員選考方法について協議した結果の説明があり、原案通り承認された。また、各地区では、次回理事会までに推薦役員を決定し報告することとなった。

(2) 第14回定時総会について

事務局より資料に基づき、総会内容等について説明があり令和8年5月28日にANAクラウンプラザ松山で開催準備することで承認された。

(3) 新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、正会員1社の退会の説明があり承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

事務局より、第3回企画広報委員会では「えひめの資源循環第27号」の企画編集、新年名刺挨拶広告及び来年の表紙のテーマ等について審議された旨、第4回総務委員会では本日の理事会へ提出する議題について審議された旨報告があった。

(2) 全産連報告

事務局より資料に基づき、第1回安全

衛生委員会、第1回最終処分部会運営委員会、第2回処分場早期安定化分科会の議事録について報告があった。

(3) その他

事業化促進支援事業成果発表会を11月12日に開催と、災害廃棄物処理実動訓練を大洲運動公園に於いて11月19日に実施したこと、視察研修は青年部の活動に併せ、台湾における視察・交流を9月23日から26日までの間で、中国地方の先進施設視察を11月27日から29日までの間で実施したこと、シェイクアウトえひめに併せて12月17日に情報伝達訓練を実施すること、四国遍路道清掃活動事業も、12月17日に実施予定である旨ご案内させていただきこと、再資源化事業等高度化法説明会が全国各地で開催予定であること他、今後の行事予定等について報告があった。

令和7年度第5回理事会

令和8年3月19日(木) 15:00～

令和8年度第1回理事会

令和8年4月23日(木) 15:30～

第14回定時総会

令和8年5月28日(木)



令和7年度 第4回総務委員会の開催

第4回総務委員会を令和7年12月3日(水)ANAクラウンプラザホテル松山で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 理事会提出議題について

事務局から、12月3日に開催する理事会の提出議題について以下のとおり説明があり、理事会提出議題として承認された。

① 次期役員選考について

事務局より資料に基づき、次期役員選考方法についての説明があり、案の通り理事会に諮ることとなった。

② 第14回定時総会について

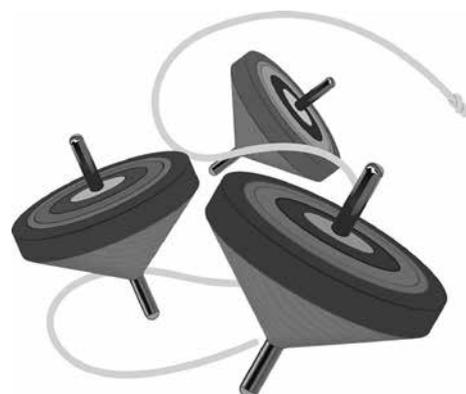
事務局より資料に基づき、令和8年5月28日(木)にANAクラウンプラザホ

テル松山で、開催する旨の説明があり、案の通り理事会に諮ることとなった。

③ 新規会員加入及び退会の承認について
事務局より資料に基づき、正会員1社の退会の説明があり、理事会に諮ることとなった。

(2) その他

第5回総務委員会については、3月19日(木)の14:00から、また、令和8年度第1回総務委員会については、4月23日(木)の14:30から、それぞれ開催することとなった。





令和7年度 第3回企画広報委員会の開催

第3回企画広報委員会を令和7年11月13日(木)、協会会議室で開催した。

1. 議 題

- (1) 「えひめの資源循環」第27号(11月号)
企画編集について

内容について協議し、「えひめの資源循環」第27号(11月号)を11月末に発行した。

- (2) ホームページについて

• アクセス解析について(7月~9月)の報告。

- (3) その他

- ① 新年名刺挨拶広告について

• 例年同様に理事・監事と青年部会に依頼する。

- ② 「えひめの資源循環」第28号(新年号)からの表紙について

- 表表紙…テーマ「えひめの駅」

1月号 南伊予駅(1857)に決定 撮影者(富久委員)

- 裏表紙…テーマは決めず各委員が撮影した写真の中から決める。

1月号 一宮神社①に決定 撮影者(岩津委員)

- 再来年から表表紙のテーマを「橋」に変更、裏は継続。

- 写真をストックできるように各自撮影してくる。

- ③ 次回委員会の開催日について

• 令和8年1月9日(金)16:00~開催

- 編集後記…全員





令和7年度 優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催しました。

○ 産業廃棄物経営戦略研修

開催日 令和7年12月16日(火)

開催場所 リジェール松山 (JA愛媛)

受講者数 47名

研修内容

① 開講挨拶

② 講義 1 「脱炭素社会における産業廃棄物処理業の方向性」

(講師 (株)環境と開発

代表取締役 田邊 陽介 氏)

講義 2 「地域の自治体や排出事業者と協力した取り組み

～脱炭素経営促進の取り組み～

(講師 (株)パブリック 企画・広報課 大谷 一彦 氏)





令和7年度松山市受託安全衛生研修の開催 (産業廃棄物処理業者研修事業)

松山市受託の産業廃棄物処理業者育成事業である安全衛生研修を、専門の講師を招き松山市の産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催しました。

○ 安全衛生研修

開催日 令和7年12月19日(金)

開催場所 リジェール松山 (JA愛媛)

受講者数 36名

研修内容

① 開講挨拶

② 講義1 「自律的な化学物質管理の進め方」

(講師 中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンター
四国支所長 衛生管理士 高橋 淳 氏)

講義2 「感じて学ぶ安全体感教育」

～はさまれ他VRで労働災害を疑似体験 転倒、転落等～

(講師 株式会社イージーエス 業務サービス部 村上 勇斗 氏)





2025年度 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の 許可申請に関する講習会の開催について

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が、今年度は、インターネットで講義を受講する「オンライン形式」と、会場で講義を受講する「対面形式」により開催されている。

なお、愛媛県の試験は松山市の「愛媛県県民文化会館2階真珠の間」及び「リジェール松山8階クリスタルホール」の2会場で、開催結果は以下の通り。

○オンライン形式開催 試験会場（愛媛県県民文化会館）

試験日時 2025年12月11日(木) 午前

講習会(課程) 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程(更新)

受講者数 22名

試験日時 2025年12月11日(木) 午後

講習会(課程) 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程(新規)

受講者数 27名

試験日時 2025年12月11日(木) 午後

講習会(課程) 特別管理産業廃棄物の処分課程(新規)

受講者数 8名

試験日時 2025年12月12日(金) 午前

講習会(課程) 産業廃棄物の収集・運搬課程(新規)

受講者数 125名

試験日時 2025年12月12日(金) 午後

講習会(課程) 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程(更新)

受講者数 84名





3Rシステム事業化促進支援事業成果発表会

協会では、愛媛県産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業の助成を受け会員企業に対して研究・開発等事業や技術・設備導入事業に最大500万円の補助を行っておりますが、令和6年度の成果について、11月12日(水)にリジェール松山「クリスタルホール」において40名が参加して「3Rシステム事業化促進支援事業成果発表会」を開催しました。

小池会長のあいさつの後、基調講演として、橋元綜合法律事務所代表弁護士 鈴木道夫様から「廃棄物処理業におけるコンプライアンスの要諦－排出事業者が求める条件－」と題して、廃棄物処理の基本である行政・排出事業者・処理事業者の役割や、私ども処理事業者が留意しなければならない点などについて、法的な立場から、平易でわかりやすいご講演がありました。

その後、令和6年度の事業成果について、松山容器株式会社の「ビン選別機導入事業」、株式会社日本有機四国の「産業廃棄物再生処理能力向上のためのターンコンボ導入」、酒井興産株式会社の「太陽光パネルのリサイクル事業」について成果発表があり、発表の後、有識者の先生から、それぞれの取り組みに対する講評をいただきました。

この事業は、令和7年度も継続して実施しております。

今後とも、私共業界を取り巻く新たな状況についての情報提供や、会員が行った事業の成果を、会員の皆様と共有する取り組みに努めてまいりたいと考えております。





愛媛県災害廃棄物処理に係る実動訓練の実施状況について

大規模災害発生時には、大量の災害廃棄物が発生することから、その処理が大きな問題となっており、令和6年1月に発生した能登半島地震における災害廃棄物も、地震発生から2年を経過し、ようやく令和7年度末の処理完了に向けて道筋が見えてきた状況で、いざ発生すると長期の取り組みが必要となる。

災害廃棄物は、一般廃棄物であり、その処理は一義的には各市町村が担当することとなるが、廃棄物処理・資源循環業界としても、その廃棄物処理に対する知見及び処理能力の面から、災害時には全面的な協力が必要とされている。

愛媛県では、令和6年度から、これまでの図上訓練に加え、災害廃棄物処理に係る実動訓練を実施していただいております。今年度も、11月19日(水)に大洲市において実施されたことから、当協会においても、八幡浜地区の会員を中心に、全面的に協力を行った。

○令和7年度愛媛県災害廃棄物処理に係る実動訓練の概要

- 1 主 催：愛媛県 担当部局：県民環境部循環型社会推進課
(事務委託先：国際航業株)
- 2 参加者：愛媛県内全20市町担当者、えひめ産業資源循環協会、学識経験者等
- 3 日 時：令和7年11月19日(水) 10時から16時
- 4 場 所：愛媛県大洲市 八幡浜・大洲地区運動公園





令和7年度 県外施設視察研修

令和7年度の県外施設視察研修は、中国方面で、令和7年11月27日(木)～29日(土)の3日間実施しました。視察先及び概要は以下のとおりです。

1 三光(株) 潮見コンビナート (鳥取県境港市)



三光(株)は、鳥取県境港市を本拠に、同市と隣接する島根県松江市に廃棄物処理工場2か所と、3つの大型処理施設を稼働させている潮見コンビナートの3か所において、産業廃棄物の処理を行っています。

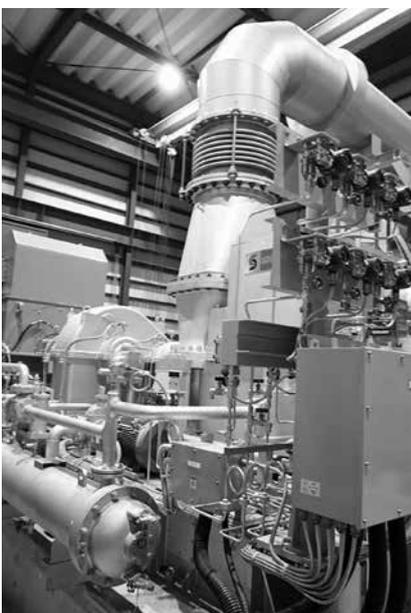
今回視察させていただいた潮見コンビナートは、主に焼却処理を行っており、94t/日の処理能力を有する大型焼却炉2基(7号炉及び10号炉)と、36t/日の炭化物の製造能力を有するウエストバイオマス工場を有しています。

特に、昨年度に稼働を開始した最新の10号炉は、焼却時に発生する熱エネルギーを利用して発電や陸上養殖を行うなど、多角的な事業を行う焼却発電施設で、最新の高効率の発電設備でコンビナートで使用する全電力を賄っているほか、電力会社に売電を行っています。

また、陸上養殖では、キジハタなどの魚類のほか、藻類の養殖にも取り組んでいました。

これら焼却炉からの排熱の有効活用をはじめ、プラント周辺の雨水、汚水などを集水槽に集め、焼却炉の冷却水に再利用し、プラントからの排水をゼロにするなど、環境に配慮した工場となっていました。

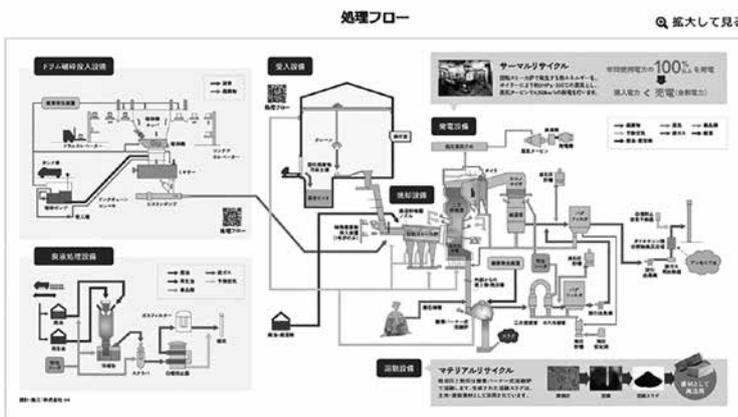
さらに、災害時には、廃棄物を原料とする発電が継続できることにより、工場に設置している給電設備とEV車等を活用し、停電して



いる避難所等電気を必要とする場所に電気を届けるシステムを構築していました。

単に廃棄物処理にとどまらず、排熱の有効活用をはじめとする環境に配慮したトータルシステムを構築されていることが非常に印象的な施設でした。

2 ツネイシカムテックス(株) 福山工場 (広島県福山市)



ツネイシカムテックス(株)は、常石造船を主体とする常石グループの一員として、廃棄物処理事業及びリサイクル事業を担っており、廃棄物の受け入れ体制と処理能力は、業界最大規模で、日本全国あらゆる産業廃棄物に対応されています。

中でも今回視察させていただいた福山工場は、同社の主力工場で、産業廃棄物処理施設のほか、アスベスト無害化処理認定施設や環境技術センターを有するほか、隣接地には同社専用の管理型最終処分場を有しています。

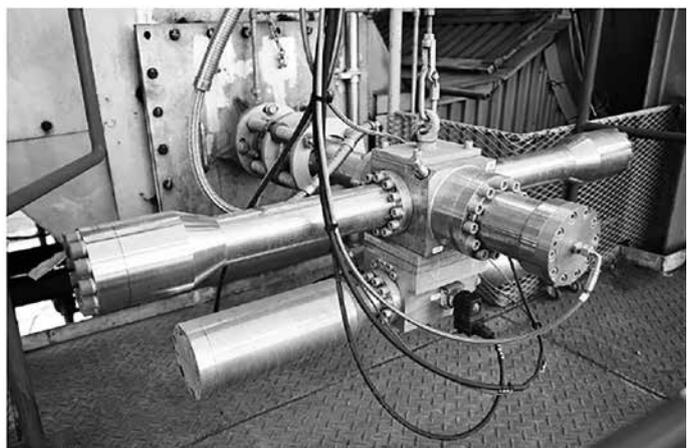
福山工場の処理能力は、固形物焼却炉373t/日、熔融炉120t/日、液中燃焼炉160t/日と、全国有数の処理能力を有しています。

特に、有害物が入ったドラム缶を、ドラム缶ごと破碎し処理するドラム破

砕機を全国に先駆けて導入するとともに、伝熱管に付着した灰を除去するための蒸気式スートブロアに代えて圧力波式スートブロアを導入し、メンテナンス性の向上にも積極的に取り組んでいます。

また、福山工場でも、高出力の発電装置を導入し、工場内の電力をすべて賄い、余剰電力を電力会社に売電していました。

また、今回視察した福山工場ではありませんが、同社の埼玉工場では、年間10万tの焼却灰を受け入れ無害化し、アークサンド(人工砂)としてリサイクルしている取り組みも紹介いただきました。



圧力波式スートブロア

3 まとめ

今回の視察研修において、非常に印象的であったのは、三光㈱においても、ツネイシカムテックス㈱においても、サーマルリサイクルへの取り組みを当然のものとしつつ、三光㈱における工場排熱の更なる有効活用や、ツネイシカムテックス㈱における焼却灰のリサイクルなど、さらに一歩進めた環境対策に積極的に取り組まれている様子が印象的でした。

確かに、現時点では、大企業だからこそ取り組めた面もあるものの、現在のゼロカーボンへの時代の流れや技術のブレイクダウンの急速な進展を考慮すると、我々の業界でもできることから積極的に取り組む必要を感じる事が出来ました。

最後に、今回の視察に対しお世話になりました、三光㈱様、ツネイシカムテックス㈱様、視察受け入れ先の調整にご尽力いただいた（一社）鳥取県産業資源循環協会様、（一社）広島県資源循環協会様に、改めて御礼申し上げます。





情報伝達訓練の実施

12月17日、当協会は愛媛県が実施する「シェイクアウトえひめ」に合わせて以下の内容で情報伝達訓練を行いました。また、昨年度よりメールでの訓練も同時に行いました。メール登録数は151社174件に留まっていますが登録いただいた会員さんからは、速やかな回答をいただけるなど成果もありました。今後も随時募集しておりますのでご協力をお願いいたします。(別添ちらし参考)

今年度は正会員の366名に対し情報伝達訓練を実施した結果、295名(80.6%)の方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。来年も実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

令和7年12月17日東南海地震により愛媛県内で甚大な被害が発生しております。

つきましては、協会の被災状況を把握したいので、下記にご記入の上協会までFAXで直ちに回答下さい。

(被災状況及び支援可能性の内容は架空で構いません。)

(回答)

えひめ産業資源循環協会 行き (FAX 089-986-3451)

会員名 _____

担当者名 _____

受信確認日時 ____年 ____月 ____日 ____時 ____分

被災は有りますか 被災有り ・ 被災無し

市町に対して支援できますか 支援可能 ・ 支援不可

(どちらかを○で囲んでください)

(伝達事項等)

(参考) シェイクアウトえひめとは

愛媛県は、えひめ防災週間(12月17日～23日)にあわせて、地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、県下一斉に「シェイクアウトえひめ(県民総ぐるみ地震防災訓練)」を12月17日に実施します。この訓練は、その場で

「(1)まず低く=DROP!」→「(2)頭を守り=COVER!」→「(3)動かない=HOLD ON!」

の安全確保行動を約1分間行うもので、誰でも、どこでも参加することができます。



災害情報伝達に用いる メールアドレスを 収集しています



随時募集中

1社何名でも
登録OK

会員の方は必ずご登録ください。

以下の手順でメールアドレスの登録をお願いいたします。

- 1 <https://www.ehimesanpai.or.jp/mailinfo/>にアクセスしてください。

スマホの方はこちら



- 2 フォームに必要事項を入力してください。

入力が完了できましたら、「送信内容を確認する」をクリックしてください。

会員名	(例) 株式会社愛媛産業資源
担当者名	(例) 愛媛 太郎
メールアドレス	(例) mail@sample.co.jp
新規登録・変更登録	<input checked="" type="radio"/> 新規登録 <input type="radio"/> 変更登録
備考欄 (その他伝達事項)	
<input type="button" value="送信内容を確認する"/>	

- 3 確認画面で入力内容を確認後、「送信する」ボタンを押してください。

- 4 入力いただいたメールアドレスに自動返信メールが送信されます。
以上で完了です。

ご不明な点がございましたら、こちらまでお問い合わせください。



一般社団法人
えひめ産業資源循環協会

TEL (089)986-3450
E-mail info@ehimesanpai.or.jp





令和7年度 四国遍路道清掃活動実施報告

令和7年度の四国遍路道清掃活動については、愛媛県中予地方局不法投棄防止対策推進協議会（愛媛県、市町及び関係団体で構成）と協会の共催事業として以下のとおり撤去活動を実施しました。

- 1 日時 令和7年12月17日(水) 11:00～12:30
- 2 場所 県道39号松山港内宮線（松山観光港～愛媛県運転免許センター）
（52番札所 太山寺奥の院から、53番札所 圓明寺間の遍路道沿い）
- 3 参加者 54名
（一社）えひめ産業資源循環協会会員、青年部会員、事務局 31名
（うち、松山地区 21名）
中予地方局不法投棄防止対策推進協議会構成員
（愛媛県・松山市・東温市・砥部町・海上保安庁等） 13名

4 内容

愛媛県運転免許センター駐車場に集合して、中予地方局不法投棄防止対策推進協議会のメンバーとともに清掃活動を実施しました。（2班に分かれ、運転免許センターと松山観光港からスタートし、白石ノ鼻の駐車スペースで廃棄物を集約しました。（廃棄物は松山市さんが処理されました）

○撤去ごみの量 16袋（45ℓ袋）

可燃物（ペットボトル、プラ系、木紙繊維）	13袋
不燃物（ガラス、金属）	3袋

清掃活動実施場所



